

## 「再生普及行動計画ワーキンググループ」の設置について

### 1. 背景

平成15年6月

釧路湿原の自然再生に係る市民参加・環境教育等の推進方策調査懇談会による「市民参加・環境教育の推進に関する10の提言」とりまとめ

平成15年11月

釧路湿原自然再生協議会の設立、再生普及小委員会の設置

平成16年2月

再生普及小委員会のもとに「10の提言行動計画ワーキンググループ」の設置を了承、同小委員会構成員へ参加を要請（5月7日締切）

### 2. ワーキンググループの構成

再生普及小委員会の構成員のうち、本ワーキンググループ（WG）へ参加を申し出られた個人、団体は、以下のとおり。（敬称略）

（個人）

江崎 秀雄 森の学習塾代表

金子 正美 酪農学園大学助教授

新庄 久志 釧路国際ウエットランドセンター主幹

（団体）

釧路武佐の森の会（会長／大西英一）

ボランティアネットワーク・チャレンジ隊（代表／佐竹直子）

NPO法人釧路湿原やちの会（理事長／梅田勉）

釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会（代表幹事／山口功）

\* 関係行政機関

\* 事務局

東北海道地区自然保護事務所

### 3. 基本的な考え方

- ・ 委員以外でも検討テーマに沿った関係者に適宜WGへの出席を願い、様々なアイデアを出し合う場とする。
- ・ できることからできる者が着手することを原則に行動内容を検討する。
- ・ 行動計画に完成版は無く、常に評価・見直しを行う。
- ・ 実施内容の評価、改善の仕組みをつくる。
- ・ 行動の輪を広げる手法を検討する。 情報発信が決め手
- ・ できるだけ予算を掛けない手づくりの方法を考え、長続きさせる。

#### 4. 検討スケジュール

平成16年5月 第2回再生普及小委員会

- ・WGの運営方針について

6月 第1回WG開催

- ・座長の決定
- ・基本的な考え方
- ・行動計画作成スケジュール等

7月? 第4回自然再生協議会にて検討状況の報告

- (以降、2ヶ月に1回程度の頻度でフレキシブルにWGを開催、小委員会へ検討状況を適宜報告)

17年 春 WGにて行動計画(案)のとりまとめ

再生普及小委員会で検討

- (必要に応じパブリックコメントを実施)

WGにて行動計画案を修正

夏 再生普及小委員会で検討、承認

自然再生協議会へ報告

- (以降、毎年見直しを行う)